

在庫スイートクラウド Lite/Pro

製造業様からよくあるご質問と回答集



2022年10月
株式会社 インフュージョン

製造業様からのご質問集です

当社が提供する在庫スイートクラウドは**700**拠点以上に導入されています。
最も多いのが製造業様であり、そのシェアは約**50**%に上ります。

本資料では、製造業様からたびたび受けるご質問と回答をまとめました。

- ・短時間にどういったシステムかを知りたい方
- ・初めてのバーコード／QRコード活用で不明点が多い方
- ・当社システムと御社課題の適合度を確認されたい方

こんな方は、ぜひご覧ください。



基礎編

Q 在庫スイートクラウドLite/Proはどんなシステムですか？

A 入荷(IN)、出荷(OUT)を、スマートフォンやハンディターミナルで入力し、リアルタイムで正確な実在庫管理を行うシステムです。

販売管理システムや生産管理システムの在庫管理では、実在庫とズレが多く困っている現場で導入されています。



Proエディションではあらかじめ入荷予定や出荷指示を登録できます。
照合・消込ながら入荷・出荷ができ、進捗の確認とミス防止を行います。

Q Excelでの在庫管理と比べてどこが優れていますか？

A Excelはデータベースではなく表計算です。
入出荷履歴と在庫は別データであり、同じ画面には表示できません。
様々なシートがあり使いづらいものとなります。

入力した内容を壊しがち

複数人で運用しづらい

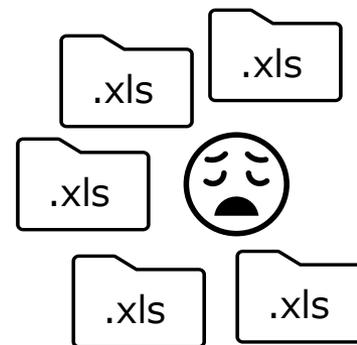
ファイルだらけになる

といった不満もお聞きします。

在庫スイートクラウドは業務システムであり、
複数人での運用が前提です。

明示的に修正や削除をしないかぎり変更されません。

入出荷履歴や在庫など、必要な情報を各画面で確認できます。



Q 品目台帳はファイル取り込みで一括登録できますか？

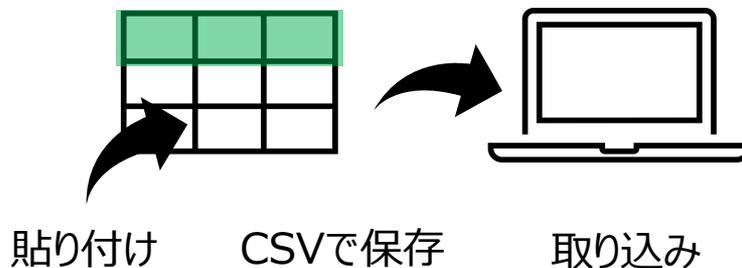
A 出来ます。

取り込むファイルのフォーマットはマニュアルに記載しています。

また、EXCEL雛形も用意しています。必要項目を貼り付けてCSVファイルとして保存することで、取込用ファイルが作成できます。

なお、アイテム毎のメンテナンスとなります。

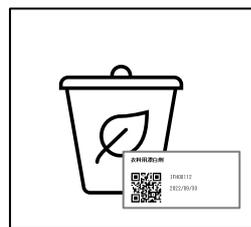
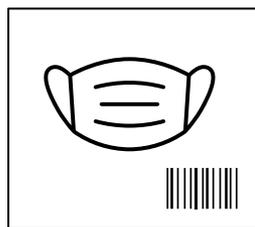
追加の場合は、追加アイテムだけのファイルを用意します。



Q JANコードのないアイテムはどうやってバーコード管理しますか？

A 自社コードをバーコード・QRコード化して管理します。

JANコードやITF、GS1-128などのメーカーが付ける流通用バーコードと自分達で発行し貼り付ける自社コードのバーコード・QRコードが混在しても運用可能です。



混在可能！



Q 自社コードのラベルを発行し貼るのが手間では？

A 必ずしもJANコードのように1つずつに貼る必要はありません。

棚に貼る、保管容器に貼る、外箱に貼る、パレットに貼る、バーコードブックを読むといった運用もあります。

<1つずつ貼る>



<段ボールに貼る>



<パレットに貼る>



<容器に貼る>



<棚に貼る>



<バーコードブックを使う>



Q 倉庫（拠点）を追加するには費用が発生しますか？
追加した倉庫は同じ運用になりますか？

A 倉庫の追加に費用は発生しません。

PC側は全倉庫同様の運用となりますが、ハンディターミナル・スマートフォンは倉庫ごとにを設定できます。

倉庫Aは広いのでロケーション管理（入力）する、倉庫Bは狭いのでロケーション管理（入力）はしない、といった倉庫毎に運用を設定することが可能です。

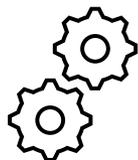


Q カスタマイズは可能ですか？

A 在庫スイートクラウドは、ExcelやKintoneなどのノンプログラミングツールではありません。提供機能をご活用いただくことで、低コスト・高品質なシステムをすぐにご利用いただけます。

なお、システム設定の各パラメーターを変更することで、使用項目や項目名、在庫状態の追加などの指定ができます。

有償となりますが、独自デザインのラベルや帳票の追加は可能です。
また、APIオプションを用意しており、ユーザー側で独自機能を追加開発されるケースもございます。

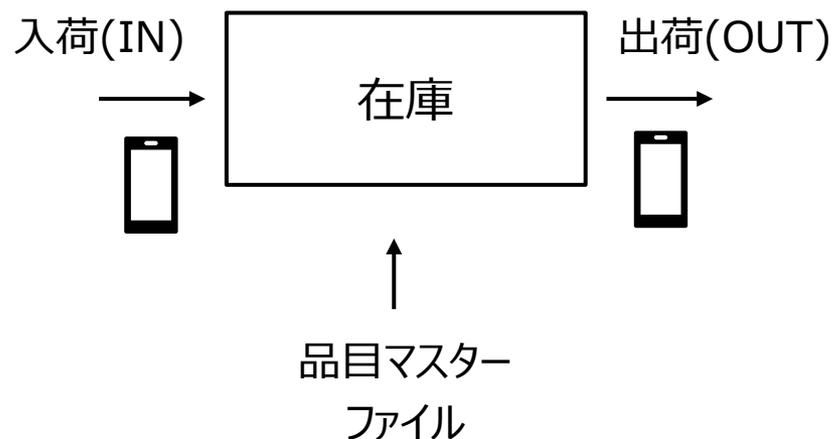


Q 現場部門主体で始めるには、Lite/Proどちらが良いですか？

A Proエディションでは予定と実績の照合ができますが、入荷予定や出荷指示を外部システムとデータ連携させます。既存システムとのデータ連携に関する導入設計が必要ですし、開発が必要となる場合もあります。

Liteエディションは品目マスターのCSVファイルがあればスタートできます。

まずはバーコードを活用した正確な在庫把握を目指して、Liteエディションを導入されるケースが多くあります。



Q 現場スタッフにはPCが苦手な者もあり使えるか心配です。

A 管理側はPC操作となりますが、現場での入庫・出庫はハンディターミナルやスマートフォンでのメニュー選択、バーコード読み取り、数量入力といったシンプルな操作です。現場操作が難しくて頓挫したユーザーはいらっしゃいません。

なお、現場操作がシンプルになるよう、バーコードの整備や運用マニュアルの作成などの準備は必要です。不安な点があればご相談ください。



入出荷について

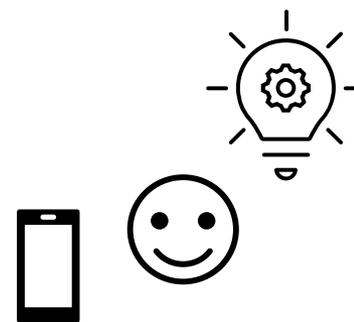
Q 入荷の際、部材の置き場（棚番）を確認するにはどうすればよいですか？

A ●置き場所が決まっている部材の場合
品目台帳（マスター）の「推奨ロケーション」を設定しましょう。

スマートフォンで部品のバーコードを読むと、画面に推奨ロケーションを確認でき、スムーズに入庫（棚入作業）ができます。

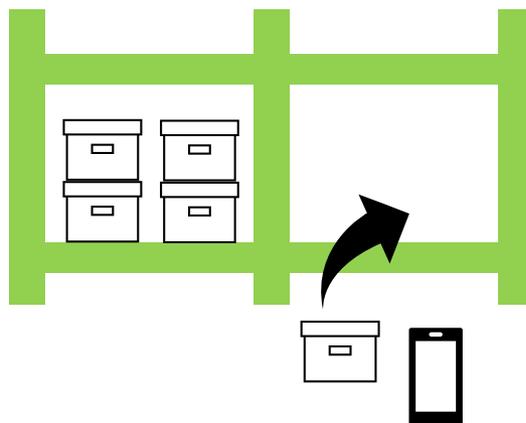
●置き場所が決まっていない部材の場合

現状保管されているロケーション（棚番）も確認できるため、置き場所が決まっていない部品でも、同じ棚に入庫できます。



Q 推奨ロケーションを設定すると、そこにしか保管できませんか？

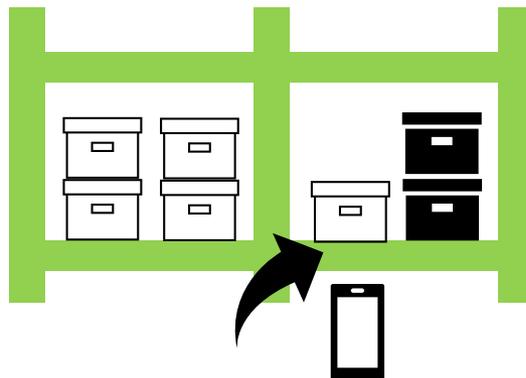
A 在庫スイートクラウドはフリーロケーションに対応した仕組みです。
必ずしも推奨ロケーションに入庫（棚入れ）する必要はありません。
置き切れない等の理由で別ロケーションに入庫することもできます。



Q 1つのロケーションには1種類のアイテムしか在庫できませんか？

A そうした制限はありません。

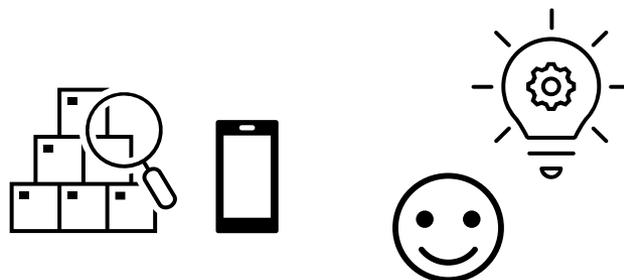
同一ロケーションに複数種類のアイテムやロットの在庫を在庫することは可能です。



Q 出荷の際、在庫の置き場（棚番）はどう確認しますか？（Lite編）

A PCでもハンディターミナル・スマートフォンでも、**アイテムを特定すれば保管されているロケーションは確認できます。**

呼び出し方はコード入力の他に、名称をGoogle検索のように検索、候補をタップして呼び出すこともできます。



Q 出荷の際、在庫の置き場（棚番）はどう確認しますか？（Pro編）

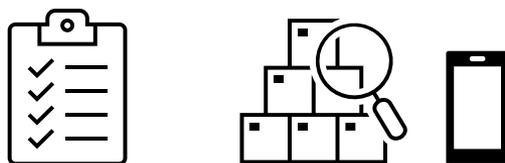
A 出荷指示を登録し出荷する場合、仮引当と本引当の2通りがあります。

●仮引当

推奨ロケーションを設定している品目は出荷指示書に印字されます。
また、出荷指示書の明細に品目を特定するバーコードを印字できます。
読み取りアイテムを特定すれば保管されているロケーションは確認できます。

●本引当

出荷する在庫をシステムが指示します。
ロケーション別で在庫管理をしていればロケーションも指示されます。
ピッキングリストに印字されますし、画面にも表示されます。



Q 古い在庫から使うためのポイントは？（1）

A 在庫情報として、ロット1に基準となる日付（使用期限、賞味期限、製造日、入荷日など）を設定します。設定内容はシステム全体で共通です。

ヒント！

システム設定で適した「用途」を設定するとより便利に利用できます。

- ・用途 = 使用期限：日付超過で不良品に自動振替&メール通知
- ・用途 = 入荷日：入荷登録時に日付が自動入力

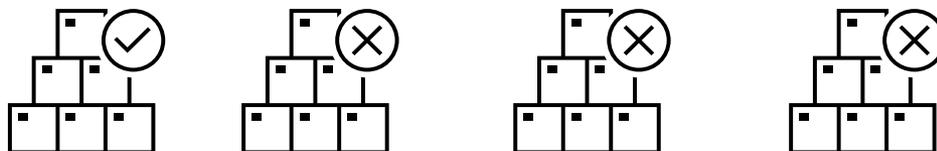
また、在庫スイートクラウドで発行するQRコード現品票を活用されるケースも多く見られます。QRコードには品目とロット情報が入っているので、QRコードを読むだけで両方入力されます。出荷や移動、棚卸でも簡単に日付を入力でき便利です。



Q 古い在庫から使うためのポイントは？（2）

A PCでもハンディターミナル・スマートフォンでも、アイテムを特定すれば保管されているロットは確認できます。

Proで「本引当」の場合、出荷する在庫をシステムが指示します。
その際の引当順は古い在庫からとなります。

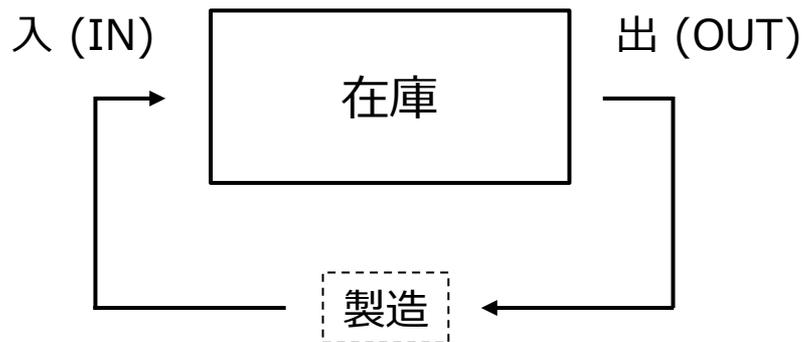


製造について

Q 製造はどうやって管理しますか？

A モノが入った（IN）、出た（OUT）を入力し、リアルタイムで正確な実在庫を把握するシステムです。

製造に必要な部材を出庫（OUT）登録し、仕上がったモノを入庫（IN）登録します。



ヒント！
顧客へ出荷する場合も、製造に部材を出庫する場合も、本システムの「出荷」機能で登録します。

Q 生産管理システムを運用している企業でも導入されていますか？

A 在庫スイートクラウドは、生産管理システムを運用している企業にも多く導入されています。

生産管理システムにも在庫管理機能はありますが、BOMを活用した製造登録により材料の引落と完成品の在庫計上を行います。「帳簿在庫」管理であり、実態とのズレが大きくなるという理由で、別途、実在庫管理システムである在庫スイートクラウドを導入いただいております。

また、BOMの整備など運用負担が大きく、気軽に在庫を管理する仕組みが欲しいということでご導入いただくユーザーもいらっしゃいます。



Q セット台帳は製造ではどのように利用できますか？

A セット台帳は品目を1個作るのに必要な構成部材を登録する台帳です。

「完成品18台製造するための部材」

といったように、**製造に必要な部材の出庫指示を登録する際、展開入力ができる**便利です。

ヒント！
出庫指示（出荷指示伝票）に対応しているのでProエディションです。

完成品



構成部材



× 2個



× 1個



× 1個



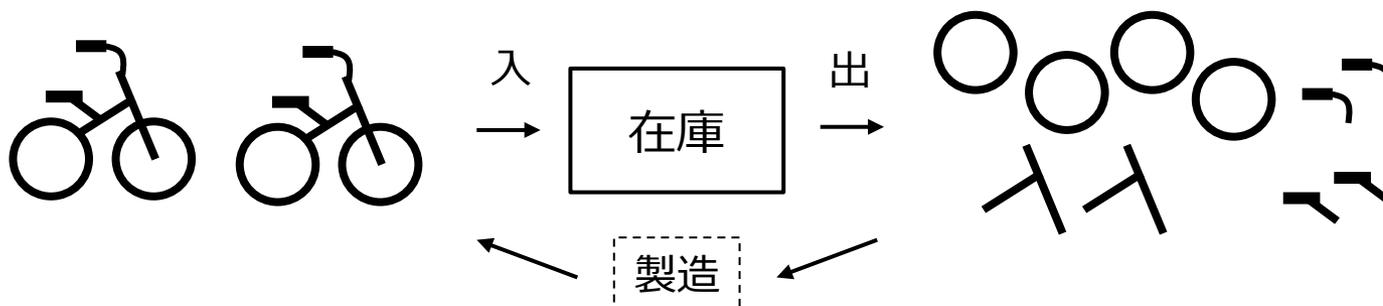
× 1個

Q セット台帳を使い、部材の引落と完成品の計上を同時登録できませんか？

A 出来ますが条件があります。

振替伝票（伝票区分 [在庫調整]）で、完成品とその数量を指定すると、完成品がプラス、必要部材がマイナスで在庫が更新されます。なお、展開入力されるのは品目と数量です。ロケーション別やロット別での在庫管理をしないケースでご利用頂けます。

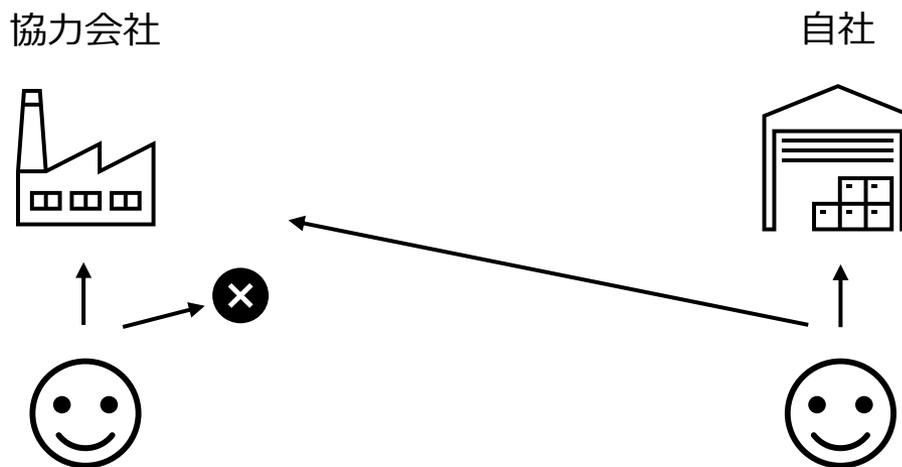
なお、製造の同時登録は、部材の出庫と完成品の入庫のタイミングの違いが反映されない、製造ロスが反映されない、といった課題があり、実在庫とのズレの原因となります。本システムでは部材の引落と完成品の計上は別々で登録するのが本来の使い方とお考え下さい。



Q 協力会社のスタッフが入力し、預けている在庫を管理する際のポイントは？

A 協力会社のスタッフが在庫スイートクラウドを操作をする場合、**自社拠点にはアクセスできない様に設定しましょう。**

※ユーザー台帳の [所属倉庫] や [全倉庫参照可] を設定します。

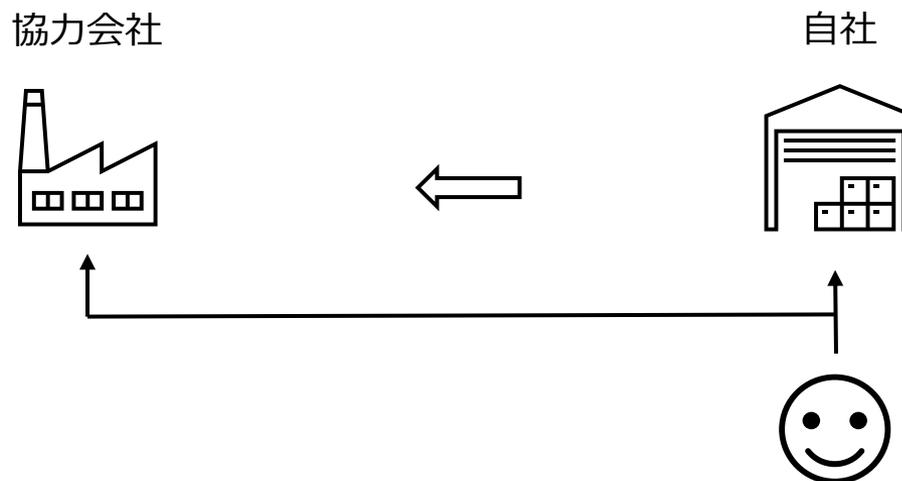


Q 自社で入力し、協力会社に預けている在庫を管理する際のポイントは？

A 御社が代行入力して管理する場合、**倉庫間出荷を登録すると、受入側の倉庫間入荷が自動登録される様に設定します。**

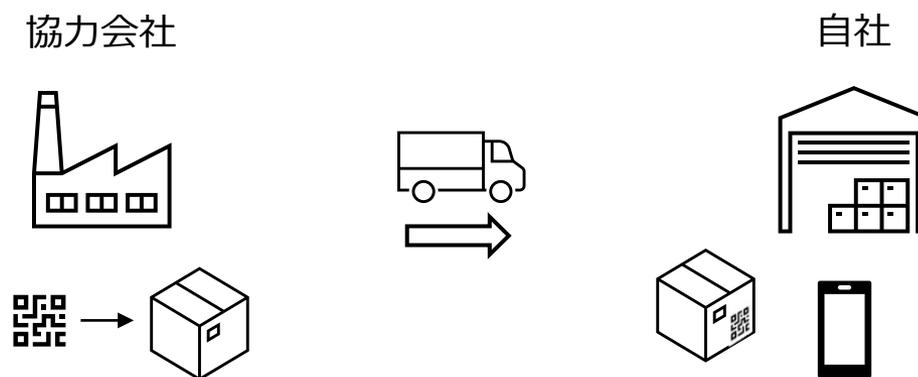
「積送中（移動中）」の在庫は確認できませんが、一回の操作で倉庫間での在庫移動が完了します。

※倉庫台帳の【同時登録倉庫】を設定します。



Q 協力会社にラベルを貼って出荷してもらいたい。
発行機能を協力会社に提供できますか？

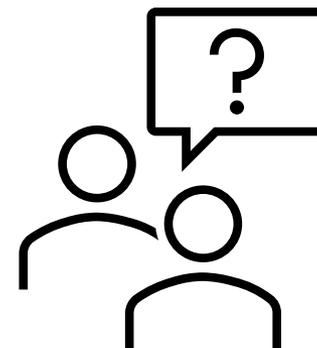
A 本システムは各ユーザーに権限（役割）を割り振って利用します。
権限にはラベル発行機能だけが利用できる権限があります。
ユーザーを協力会社に提供することで、発行機能だけを提供することが可能です。



ご確認・ご相談をお待ちしています

- ・体験版を使ってみたい
- ・自社の課題に対し相談に乗ってほしい
- ・自社に適した提案と見積もりが欲しい

などがございましたら、お問い合わせください。
多くの現場の改善に携わってきた専門スタッフが
対応いたします！



相談メール：trial@infusion.co.jp